

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet

平成24年9月28日

第26号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

第41回秋田県特別支援学校 学校展

☆県内特別支援学校とそこで学ぶ幼児児童生徒の学習の様子を広く県民の皆様に紹介するための学校展を開催します。

秋田県のみなさん、きてみてね！

- ・県内各特別支援学校活動紹介パネルの展示 ・学校紹介DVDの放映
- ・幼児児童生徒の作品、作業製品、教材教具の展示
- ・特別支援学校体育連盟、特別支援学校文化連盟の紹介 等を行います。

学校展Ⅰ

10月20日(土)

午前10時から午後4時30分

イオンモール秋田

1Fセントラルコート

(秋田市御所野地蔵田一丁目1-1)

作業製品の販売

午後1時から2時

点字と手話の

体験コーナー

午後2時から4時

学校展Ⅱ

10月25日(木)～27日(土)

午前9時から午後4時

秋田市文化会館

地下展示ホール

(秋田市山王七丁目3-1)

同会場で文化祭も開催されます。

第10回秋田県特別支援学校文化祭

スマイルステージ・2012

10月25日(木) 12時30分開演

秋田市文化会館 大ホール

キラキラ輝け

ハッピースマイル

入場無料

☆盲学校、聾学校、秋田きらり支援学校
が出演します。

問い合わせ先や会場までの地図等の情報は
本校ホームページ(お知らせ)に掲載されて
おりますので、御覧ください。

秋田きらり支援学校

検索

連載 本校の授業の様子から

数を相対的にみる力を育てるために・・・

～小学部 算数の学習から～

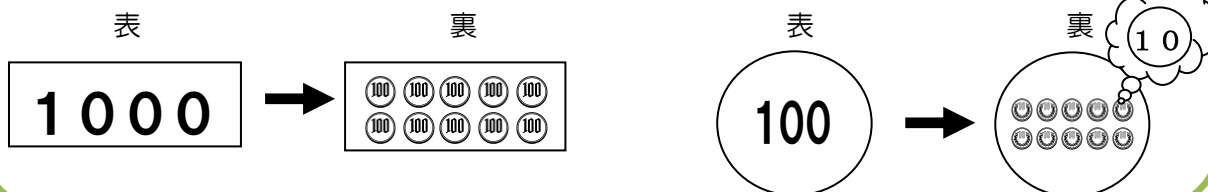
肢体不自由の子どもたちは、買い物に出かける機会や自分でお金を操作することが少ないです。そのため、数に対する感覚が乏しかったり相対的にみる力が弱かったりします。例えば、10が10個集まると100、100が10個集まると1000になるということの理解について戸惑う子どもがいます。今回は、お金を用いて数を相対的にみる力を育てる取組を紹介します。

① 操作する活動の導入

子どもの興味関心に合わせて、数えたりまとまりをつくったりする活動をゲームや買い物ごっこなどに取り入れます。意欲をもって楽しく取り組みますので、ねらいをきちんと押さえることが大切です。

② 視覚的に理解する教材の工夫

100のまとまりが10個集まると1000になることがすぐ分かるように、カードの表に1000、裏に100円を10個かきます。忘れたら、カードをひっくり返してすぐに確認することができます。お金の絵であらわしてあるので、一目見てすぐに分かります。



③ 日々の生活の中で、数字に触れる機会を設定

子どもの頑張りが見られた時（準備や片づけが早くできた、給食を残さずに食べたなど）、模型のお金をあげて貯めていきます。黒板に貯まった金額を書いたり、10円が10個集まったら100円に両替したりして、毎日、数字に触れる機会をつくっていきます。990に10をたすことで1000になる、1000より10少ない数は990など、数を多方面から見ることにつながっていきます。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575